

岩手県における障がい者雇用事例

日新スズキ販売株式会社

(平成25年度 岩手県知事表彰受賞)

日新スズキ販売株式会社は、障がいのある方の雇用や、障がいのある方が働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいることから、障がい者雇用優良事業所岩手県知事表彰を受賞しました。今回、本社を訪問し、総務課長兼保険課長の盛川光夫さんにお話を伺いました。



【事業所所在地】

花巻市二枚橋第6地割264-2

【事業内容】

自動車小売業

【従業員数】

125名(平成25年10月末現在)

うち障がいのある方 7名

(障がい種別：身体障がい7名、うち重度5名)

◆ 障がいのある方を雇用した経緯、背景

日新スズキ販売(株)は、昭和57年に花巻公共職業安定所の紹介を受けて、障がいのある方の雇用を始めて以来、現在まで継続しています。実は、最初に雇用されたのが、今回お話を伺った盛川課長です。

盛川課長は、採用時の面接で「障がいがあるのでできないこともあります。障がい者と思わないで自分を使ってほしい。」とアピールしたとのこと。そういった常に前向きで向上心をもった勤務姿勢が認められ、優秀勤労障がい者として、平成11年に岩手県知事表彰、平成13年には厚生労働大臣表彰を受賞されています。

同社では、現在、障がいのある方が7名雇用されています。そのうち4名は同社に雇用された後、疾病等が原因で重度の障がいをお持ちになりましたが、継続して雇用されています。

これは、「本人に働く意志があり、仕事の環境が合致すれば、出来る限り配置転換や業務内容の見直しなどを行い、雇用を継続する。」という会社方針に基づいたものです。

盛川課長は言います。「障がいを持った状態での職場復帰にあたっては、会社側の協力が必要ですが、何よりも『復帰しよう』という本人の強い意志が必要です。」

◆ 障がいのある方の雇用に関して工夫していること

「障がいの種別により、どうしても、できる仕事とできない仕事があります。それらを本人が認めたくえて、それまでのキャリアも考慮し適材適所に配置すること、また、必要に応じて誰かが自然にサポートする環境をつくることですね。」

◆ 就労を希望している障がいのある方へのメッセージ

「障がいの有無に関わらず大切なのは、周囲の方々への感謝の気持ちを忘れないこと。また、自分の中で限界を作らず、できないことはできないと認め、できることはその分野のエキスパートになるくらいの気持ちでがんばる姿勢が大事ですね。」

自らも障がいをお持ちで、30年以上も同社に勤務されてきた盛川課長の言葉は、非常に説得力があります。

◆ 障がいのある方の雇用を検討している事業所へのアドバイス

「現在進行している高齢化社会においては、中高年が転職しにくい環境です。就労後に、疾病等により障がい者となった方については、自社以外で再雇用されることは非常に難しいです。その方の労働意欲が旺盛であれば、まずは自社で継続雇用できないか考えてあげることが重要です。」

退職を前提としない会社側の少しの配慮、労働者側の努力と勤労意欲が必要ですが、雇用を維持できる可能性はあります。」

(取材：雇用対策・労働室)